

2020年9月7日
福島県郡山市

**地域づくりのパイオニア『ソトコト』編集長 指出 一正氏が学校長に就任！
県内初、完全オンライン開催！新しい時代の“今、学べる” まちづくり学校
郡山のまちにワクワクを！地方発、地域づくりと発信の学びの場
「こおりやま街の学校」が9月4日（金）いよいよ開校
～9月4日（金）よりウェブサイト（<https://machigaku.jp>）にて本校生の募集開始～**

福島県郡山市は、まちを舞台に「地域のために何か始めたい」「郡山の魅力を発信したい」と感じている全ての住民や関係人口の方々を対象にした学びの場「こおりやま街の学校」を開校しました。

**「可能性」や「ユーモア」を表現できる豊かな郡山を目指す郡山市の新プロジェクト
オンラインで開校式・任命式を開催しました**

開校に先立ち、9月4日（金）に完全オンライン形式で開校式・任命式を開催し、その様子をFacebook LIVEでも同時配信。出席者のみならず、報道関係者もオンライン会議システムZoomから傍聴・取材記者発表は、郡山市として初めての試みとなりました。

開校式では、品川 万里（しながわ・まさと）郡山市長から学校長に就任した指出 一正（さしで・かずまさ）氏（sotokoto online代表取締役 ソトコト編集長）に任命状をオンライン贈呈。

バーチャル機能を駆使し、2人があたかも同じ会場にいるかのような不思議な空間の中、郡山の会場から東京にいる指出 学校長に任命状が瞬間移動する演出を取り入れるなど、オンラインの特性を生かした遊び心のある内容となりました。

そのような和やかな雰囲気の中、市長と学校長の対談が行われ、郡山市長は『郡山のまちが一つの舞台。指出さんのお力添えをいただき、郡山市がみなさんが活躍している姿を発信するメディアとしての役割を発揮できれば』と「こおりやま街の学校」への期待を込めました。

指出 学校長は、現在入学募集中である将来の受講生のみなさんに対し、『こおりやま街の学校を通して生まれた、新しい仲間との関係性が増える喜びを感じてほしい』とエールを送りました。



品川 万里郡山市長（左）と指出 一正学校長（右）



記者発表会の様子



指出 一正「こおりやま街の学校」学校長

「こおりやま街の学校」は、地域プレイヤーの発掘・育成と郡山の魅力発信のため、全国各地での先進的なローカルプロジェクトから学ぶ“地域づくりの学びの場”として誕生しました。どのように郡山のまちを盛り上げていくかについて世代を超えて語り合い、実践的な展開につなげていくという郡山市の新たな取り組みです。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、プロジェクト内容全てをオンラインで実施します。

「こおりやま街の学校」学校長には、ソーシャル&エコマガジン『ソトコト』編集長で、全国の地域づくりに携わる指出 一正氏が就任。講師としても登壇しつつ、通年でプロジェクト全体を監修いただきます。

また、総勢14名の著名な講師陣によるセミナーやFacebookグループを活用した参加者間コミュニティの形成など、郡山を舞台に次々と生まれていく“可能性の種”を万全の体制でサポートします。

参加されるみなさんの持つ「可能性」や「ユーモア」を表現できる豊かな郡山を目指します。

新しい生活様式に対応した完全オンライン開催 「こおりやま街の学校」本校生を9月17日（木）まで募集中！

「こおりやま街の学校」の参加方法は、年度を通して全てのセミナーに参加し見識を深める「本校生」と、都度希望するセミナーに申し込み参加する「聴講生」に分かれ、興味関心やスケジュールに合わせて参加スタイルを選択することができます。

また、生活拠点に関わらず気軽に参加可能というオンラインの強みを生かし、遠方に居住する出身者や郡山市に興味がある方の参加も歓迎し、新たな郡山のファンや関係人口を広げていきます。

「本校生」の募集は令和2年9月17日（木）まで、第1回セミナーの「聴講生」の募集は令和2年9月10日（木）～23日（水）まで、それぞれ公式ウェブサイトで開催しています。

全9回のセミナーは当日zoomで配信されるほか、「こおりやま街の学校」公式Facebook内のアーカイブ動画を通して順次公開します。また、「こおりやま街の学校」の活動の様子をウェブサイト等に掲載し、郡山を支え応援してくれる人々の熱量や郡山の魅力を広く発信していきます。

- 「こおりやま街の学校」ウェブサイト
(URL: <https://machigaku.jp>)
- 「こおりやま街の学校」Facebook
(URL: <https://www.facebook.com/koriyamamachigaku/>)
- 「こおりやま街の学校」Twitter
(URL: https://twitter.com/k_machigaku?s=20)



こおりやま
街の学校
KORIYAMA TOWN SCHOOL

郡山市のシンボルがデザインされている
「こおりやま街の学校」校章

全国で活躍するハイレベルな講師陣が集結！

「こおりやま街の学校」全9回のセミナー開講は9月25日（金）からスタート！



「TURNS」プロデューサー
堀口正裕氏

全9回のセミナーでは、ローカルメディアの編集や地域の場づくり、さらには様々な課題解決型の地域づくりなど、全国各地で活躍されている様々な地域プレイヤーを講師にお招きします。

先進的な取り組み事例から地域づくりのエッセンスを学び、実際に郡山でどのような視点でまちを盛り上げ・発信していくのかを、受講生同士でアイデアを共有し、実現に向け検討します。

受講されるみなさんの「可能性」と「ユーモア」を大切に、郡山のまちをキャンパスにしたプロジェクトが始動します。

9月25日（金）開催の記念すべき第1回にご登壇される指出学校長と『TURNS』プロデューサーの堀口 正裕（ほりぐち・まさひろ）氏の講義を皮切りに、総勢14名による豪華な顔ぶれとなっています。

詳細は、公式サイト（URL: <https://machigaku.jp>）をご覧ください。

＜本件に関するお問合せ先＞

福島県郡山市文化スポーツ部国際政策課

TEL: [024-924-3711](tel:024-924-3711) / MAIL: gakuto@city.koriyama.lg.jp

<参考資料>「こおりやま街の学校」講師陣の紹介

※現時点で確定している方のみ掲載しています。詳細はウェブサイト (<https://machigaku.jp>) をご覧ください。



ソント編集長
指出一正氏

雑誌『Outdoor』編集部、『Rod and Reel』編集長を経て、現ソント編集長。島根県「しまとアカデミー」メイン講師。静岡県「地域のお店」デザイン表彰審査委員長、和歌山県田辺市「たなとアカデミー」メイン講師、秋田県湯沢市「ゆざわローカルアカデミー」メイン講師等多数活躍。著書に『はくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。



[TURNS]プロデューサー
堀口正裕氏

株式会社社第一プログレス常務取締役、TOKYO FM『SkyrocketCompany』スカロケ移住推進部ゲストコメンテーター。国土交通省、農林水産省等での地方創生に関連する各委員、地域活性事例に関する講演多数、全国自治体の移住施策に関わる。



goodmornings株式会社
水代俊氏

1978年生まれ。愛媛県出身。2002年より株式会社イデーにてカフェやライフスタイルショップの新規出店を数多く手掛ける。2012年に good mornings 株式会社を設立。東京・丸の内や神田、日本橋浜町を始め、全国各地で「場づくり」を行い、地域の課題解決や付加価値を高めるプロジェクトを数多く仕掛ける。



NPO法人アーツセンターあきた ディレクター
一般社団法人ノマドプロダクション 代表理事

橋本 誠氏

1981年東京都生まれ。東京文化発信プロジェクト室(現・アーツカウンシル東京)を経て、2014年に一般社団法人ノマドプロダクションを設立。2020年よりNPO法人アーツセンターあきた ディレクター。多様化する芸術文化活動と現代社会をつなぐ企画に様々な立場で携わる。



株式会社ここにある代表取締役|場を編む人
藤本 遼氏

1990年4月生まれ。兵庫県尼崎市出身在住。『余白のデザイン』と『あわいの編集』をキーワードに、さまざまな地域プロジェクトに関わる。代表的なものに「ミーツ・ザ・福祉」「尼崎ばーちー」「カーリー寺」「生き博(旧:生き方見本市)」などがある。多様な地域住民や関係者の巻き込み、プロセスデザインを専門としている。『場づくりという冒険 いかしあうつながりを編み直す』著。



株式会社ヘラルボニー 代表取締役社長
松田崇弥氏 松田文登氏

福祉を軸に物・こと・場所を企画し、様々なクライアントと共にプロジェクトや商品を世に送り出している。自らを「福祉実験ユニット」と呼ぶ。「異彩」や「普通じゃない個性」を可能性と捉え、障害のある方たちのアートを「HERALBONY」というブランドで販売したり、工事現場の外壁に街を彩るアートへと変える「全日本仮囲いアートプロジェクト」を展開する。



ジモコロ編集部
徳谷栴次郎氏

1982年生まれ。株式会社 HUUUU の社長に擬態しながら、全国 47 都道府県を編集しています。主なお仕事は、どこでも地元メディア「ジモコロ」の編集長、海の豊かさを守ろう「Gyoppy」の監修、TBS 系列のニュース番組「Doo」の司会、長野の善光寺近くでお店「やってこ!シンカイ」など。趣味は「ヒップホップ」と「民俗学」と「植物」。



株式会社オールユアーズ
木村昌史氏

『寝ていることすら忘れてしまう服』をコンセプトにストレスからヒトをカイホウするプロダクトを開発。CAMPFIREにて24カ月連続クラウドファンディングに挑戦。アパレルカテゴリで国内最高額の支援を集めた。全都道府県でトークイベントと試着会を行う「47都道府県ツアー」も行った。



ゲストハウス情報マガジンFootPrints代表
前田有佳利氏

全国200軒以上のゲストハウスを旅する編集者。WEB「ゲストハウス情報マガジンFootPrints」代表。書籍「ゲストハウスガイド 100 -Japan Hostel & Guesthouse Guide-」(ワニブックス)著者。greenz・公共R不動産・TURNS・MUJI×URなどのWEBメディアや、大正大学の月刊誌『地域人』などで執筆。和歌山移住計画やARCADE PROJECTの実行委員としても活動。



AMP/PAM主宰
UDCOデザインリサーチャー
伊藤 孝仁氏

2010年東京理科大学卒業。2012年横浜国立大学大学院Y-GSA修了。乾久美子建築設計事務所を経て2014年から2020年 tomito architecture 共同主宰。2020年よりAMP/PAM 主宰、UDCOデザインリサーチャー。